

DXふわふわ要望 マップ手引書

独立行政法人情報処理推進機構 産業サイバーセキュリティセンター

中核人材育成プログラム8期生 卒業プロジェクト
DXセキュリティ対策委員会

目次

1. はじめに.....	2
1.1 「DXふわふわ要望マップ」の目的.....	2
1.2 想定利用者.....	2
1.3 活用シーンの例.....	2
2. マップの使い方.....	3
2.1 マップ使用の手順.....	3
2.2 マップの構成.....	3
3. 免責事項.....	4
4. 謝辞.....	6

1. はじめに

1.1 「DXふわふわ要望マップ」の目的

「DXふわふわ要望マップ」は、DX推進や業務改善の現場で寄せられる「曖昧で捉えにくい要望（ふわふわ要望）」を、関連するDXキーワードとともに可視化・整理するマッピングツールです。

現場の声を最大限に活かし、的確な対応方針の策定や施策の優先順位付けを支援することを目的としています。

1.2 想定利用者

本書は、主に以下の関係者を想定しています。

- ・ 中小企業におけるDX推進の現場部門担当者
- ・ 情報システム部門(情シス)担当者
- ・ 企画部門担当者
- ・ 業務要望の整理や企画立案を担うその他の関係者

1.3 活用シーンの例

以下に、本資料の活用シーン例を記載します。

- ・ DX推進における初期のヒアリングフェーズ
- ・ 経営層や現場から出てくる抽象的な要求の具体化
- ・ システム化対象の選定や優先順位づけの事前検討
- ・ プロジェクト立ち上げ前の合意形成支援

2. マップの使い方

2.1 マップ使用の手順

1. ふわふわ要望列より、該当の要望を選択してフィルターの「◎」にチェックを付けます。

☒ (すべて選択)
 ☐ (空白セル)

【ふわふわ要望】															
技術的に面白そうなの、何かないの？	何か、若い人にウケるような企画とかないの？	ペーパーレスで働けるような場、ありませんか？	職場の人手不足、どうにかできないの？	社内の古いITツール、そろそろ見直すべきじゃない？	うちもAIで業務効率化できないの？	うちの顧客データ、もっと活用できるんじゃない？	うちの業務って全部自動化してない？ちょっと悲しいよね	うちのデータを使って、業務効率化出来ないか？	クラウドに移行しないといけないって聞かれるでしょ	建設費抑もDXって聞くと、何するの？	社内で同じ質問ばかり来るんだけど、自動化対応できない？	社員のスキルとか得意分野、もっと見える化できない？	今の業務、無駄がどこにあるの？数字で見えたりしないの？	もっと「今どきの働き方」っていうのを取り入れられない？	製品が売れたのフォローって、もっとスマートにできないかな？

2. 要望に対応したキーワードや概要等を閲覧することができます。

[illegible]

2.2 マップの構成

列名	内容
キーワード	DX推進における重要ワード名が記載されています。
概要	キーワードの概要や利点が記載されています。
利用例	キーワードの活用例が記載されています。
必要となるもの	キーワードを利用する上で必要となるものが記載されています。
セキュリティリスク	キーワード特有のセキュリティリスクの概要について記載されています。
対策	セキュリティリスクを軽減するための対策概要が記載されています。
ふわふわ要望	ふわふわ要望一覧が記載されています。

3. 免責事項

1. 著作権及びその他すべての知的所有権

「DXふわふわ要望マップ」(以下、「本マップ」)」に関する著作権及びその他すべての知的所有権は、「情報処理推進機構 産業サイバーセキュリティセンター 中核人材育成プログラム 8期生 ～DXセキュリティ対策委員会～(以下、「本プロジェクト」)」に帰属する。

2. 位置付けと限界

本マップは、DX推進や業務改善プロジェクトの初期段階における対話・要望整理の支援ツールとして提供するものです。

内容の網羅性・完全性を保証せず、分類や表現には作成者の主観や解釈の相違が含まれる場合があります。

セキュリティリスク欄に挙げた概要は一般的ケースを示すものであり、導入先システム毎に残存リスクの再評価が必要です。

※情報処理安全確保支援士によるチェックを受けた上での、DX推進・導入を推奨致します。

3. 保証の否認

本マップおよび付随する情報は、特定の目的への適合性、有用性、安全性等について、いかなる明示または黙示の保証も行いません。

4. 専門的アドバイスの非提供

本マップは法務、会計、税務、技術的アドバイスを意図したものではありません。必要に応じ、各分野の専門家にご相談のうえご利用ください。

5. 第三者権利不保証

本マップに含まれる情報の利用により第三者の知的財産権その他権利を侵害しないことを保証するものではありません。利用者自身の責任において権利処理を行ってください。

6. 責任制限

本マップを利用または参考にした結果生じたいかなる損害・損失(直接損害・間接損害・逸失利益を含む)についても、当方は一切責任を負いません。

当方の賠償責任の上限は、本マップ提供時点で利用者が実際に負担した直接実損額を超えないものとします。

最終的な方針決定や施策実行は、関係者間の合意形成と責任者の判断のもとで行ってください。

7. 編集・再利用

本マップは自由に編集・カスタマイズいただけますが、文脈を逸脱させる改変や誤解を招く編集はご遠慮ください。

改変版をインターネット上で公開・再頒布する場合は事前にご連絡ください。

8. 組織の公式見解との関係

本マップの内容は作成時点でのプロジェクトメンバーの見解に基づくものであり、IPA(情報処理推進機構)や所属組織の公式見解を示すものではありません。

9. 有効期間

本マップの有効期間は発行日より2年間(2027/8/31まで)とします。

10. 準拠法・裁判管轄

本マップの解釈・適用には日本法を準拠法とし、本マップに起因または関連する紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

4.謝辞

「DXふわふわ要望マップ」および本手引書の作成に際し、現場の最前線でDX推進に携わる皆さまからいただいた多様な視点と貴重なご示唆により、本マップの内容を一層ブラッシュアップすることができました。

特に、抽象的かつ曖昧な要望を具体化するための実務的な知見は、本マップの方向性を決めるうえで大きな指針となりました。

また、要望整理の手法や分類方法についての活発な議論を通じ、数多くの建設的なご意見を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

本プロジェクトは、IPA産業サイバーセキュリティセンター中核人材育成プログラムの枠組みで進められました。門林雄基先生、満永拓邦先生をはじめ、関係各位の皆さまには、節目ごとに温かいご助言とご支援を賜りましたことを、この場を借りて謹んで御礼申し上げます。

プロジェクトメンバー一同、心より感謝申し上げます。

プロジェクトメンバー

【リーダー】

渡邊 友明

【サブリーダー】

守屋 友貴

【メンバー】

木村 有佑

佐藤 湧太

岩崎 耕祐

以上